

朝、目覚めると、ブラインドから真夏の強い光りが差し込んでいた。身体中がうっすらと汗ばんで、今日も暑くなりそうな予感がする。思いきって起き上がり、シャワーを浴びるとやっとすっきりした気分になり、頭の方も働き始めたようだった。シャワーの前にスイッチを入れておいたコーヒーのいい香りが部屋中に満ちて、やっと一日の始まりらしく思えてきた。

一杯のコーヒーが、まだ頭の芯に残っている酔いを醒ましてくれた。昨夜、いえ正確には夜中の二時まで、Nとふたりで飲んだのだった。ふたりとも半分やけっぱちみたいになって飲み続けたように思う。お互いにどうしようもないくらい大切に思っているくせに、いざ会ってみるとつまらない意地の張り合いになって、いつものわがままが出てしまうのだった。

昨日は確か写真の話をした。内容はよく覚えていない。彼が撮った写真のことだったのだろうか。私も以前はよく写真を撮っていた。モノクロだったけれど、写真も絵や音楽と同じで、写真そのものがかくし持っている世界に広がりを感じられるようなものが好きだった。写真は普通に撮ると平板になってしまう。その写真にいかにも奥行とストーリーを感じさせるかだと思つ。

Nと私の関係にも奥行はあるだろうか。男と女のつき合いいにも奥行が必要だと、いつまでもそんなつながりを持っていたいと思えるのだった。

